

〈旅立ちの時〉



タンポポの綿毛が今まさに旅立とうとしている。どこに向かうか、どこに落ちるか風任せ運任せ。条件が揃っていれば発芽して新天地で仲間を増やせるが、そうでなければそこで終わり。1本の茎から何十何百のタネが綿毛の落下傘に運ばれて旅をする。

工藤直子さんの「のはらうたⅢ」の なかにこんな詩があった。

**ねがいごと たんぽぽはるか**  
**あいたくて あいたくて あいたくて あいたくて・・・**  
**きょうも わたげを とぼします**

誰かに、何かに会いたくて綿毛を飛ばす“たんぽぽはるか”さん。ねがいごとが叶うかどうかは風次第。それでも一つ一つの綿毛に会いたい願いを託して飛ばし続ける。自分もふーっと息を吹きかけて綿毛を飛ばしてみた。会いたい人に会えるように・・・。